

令和3年度 第2回川崎市立病院運営委員会 議事録

1 日時

令和3年8月2日（月）13:00～14:35

2 会場

川崎市川崎区砂子1丁目8番9号 川崎御幸ビル7階 大会議室

※委員及び一部の理事者はWeb会議による参加

3 出席者

(1) 委員

大道委員長、野中副委員長、渡邊委員、新井委員、堀田委員

※全員がWeb会議による参加

(2) 事務局

増田病院事業管理者

亀川病院局長

(川崎病院)金井病院長、野崎副院長、千島副院長、岡事務局長

山内患者総合サポートセンター副所長

(井田病院)中島病院長、藤原副院長、北村事務局長

(多摩病院)長島病院長、井上副院長、相澤事務部部長

(総務部)林部長、郷野庶務課長、篠山担当課長

(経営企画室)今村室長、関担当課長、市川担当課長、田中担当課長、植竹担当課長

菅沼担当係長、芝田担当係長、阿部担当係長、横山職員

※市立3病院の参加者は全員がWeb会議による参加

4 議題

(1) 川崎市立病院中期経営計画に基づく令和2年度の実績状況に対する点検・評価及び決算の概況について

(2) 川崎市立病院中期経営計画に基づく5か年の成果について

(3) 次期中期経営計画の実施内容（案）及び指標の設定について

(4) その他

5 傍聴者

なし

6 議事

(今村経営企画室長)

定刻でございますので、ただ今より、令和3年度第2回川崎市立病院運営委員会を開催させていただきます。

私は本日の進行を務めさせていただきます、病院局経営企画室長の今村でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は新型コロナウイルス感染症への対策として、Web会議による開催となりますので、御了承ください。

はじめに、本日の会議につきましては、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」第3条の規定に基づき、公開とさせていただきますので御了承願います。

なお、現時点で傍聴希望者はいらっしゃいません。

本日の資料は、次第に記載のとおり、事前に送付させていただいております。

また、本日は内海委員につきましては、所用のため御欠席とのことでございますが、委員の3分の2である4名以上の御出席をいただいていることから、「川崎市立病院運営委員会設置要綱」の規定に基づきまして、本日の委員会は成立していることを御報告いたします。

それでは、はじめに、委員の交代がございましたので御報告いたします。添付しております、委員名簿を御覧ください。

川崎市医師会推薦委員につきましては、役員の改選に伴い、関口委員から新井委員への交代について申し入れがございました。

また、川崎市看護協会推薦委員につきましても、同様に、広瀬委員から堀田委員への交代について申し入れがございました。

新たに御就任いただく、お二方の委員におかれましては、本日から年度末までを委員任期として、事前に病院事業管理者から、委嘱状を交付させていただいております。よろしくお願いいたします。

それでは、開会に当たりまして、増田川崎市病院事業管理者から、御挨拶をさせていただきます。

(増田病院事業管理者)

病院事業管理者の増田でございます。

本日は大変お忙しいところ、川崎市立病院運営委員会に御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

今回の会議も前回同様、感染対策のためWeb会議での開催とさせていただきました。今後も当面はこの形態での開催が続くものと思われますので、会議運営の改善に向けてお気づきの点などございましたら、遠慮なく事務局に仰っていただければと存じます。

また、先ほど御紹介がありましたが、川崎市医師会及び川崎市看護協会の役員交代に伴い、

関口委員、広瀬委員が退任され、新井委員と堀田委員が新たに就任されました。新たに委員となっただきましたお二方におかれましては、忌憚のない御意見を頂戴できればと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、本日、神奈川県に非常事態宣言が発出されたところですが、オリンピック開催前から始まりました第5波におきましても、市立病院としての使命と役割を果たすべく、感染患者等の受入に積極的に対応しており、現在、感染拡大を踏まえ、受入病床の拡充を進めているところでございます。

さらに、ワクチン接種につきましては、医療従事者向けの優先接種は大方終了し、現在は介護従事者等への接種を行うなど、可能な限り御協力をさせていただいております。

東京都においては、受入病床確保の為、通常診療の制限について言及しているようですが、市立3病院におきましては、今後も、可能な限り新型コロナウイルス感染症への対応と通常診療の両立に全力を注ぎつつ、ワクチン接種につきましても国や県からの要請にもできる限り対応したいと考えております。

本日は、中期経営計画に基づく令和2年度の取組状況に対する点検評価をはじめ、3つの議題を用意させていただいております。いずれの議題につきましても、公立病院としての役割をしっかりと果たしていくにあたり、重要なものとなります。その為、忌憚のない御意見、御指導をいただければと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

(今村経営企画室長)

ここで、本日出席しております川崎市の職員のうち新任または異動した部長級以上の職員について、病院局長の亀川より御紹介させていただきます。なお、お手元の資料にございます「関係職員一覧」を御参照ください。

亀川局長、よろしくお願いいたします。

(亀川病院局長)

病院局長の亀川でございます。よろしくお願いいたします。

私の方から、新任または異動した部長級以上の職員を御紹介させていただきます。

まず、本庁でございますが、総務部長の林でございます。経営企画室長の今村でございます。

次に川崎病院ですが、岡事務局長でございます。

最後に多摩病院ですが、井上副院長兼看護部長でございます。相澤事務部長でございます。

以上でございます。

(今村経営企画室長)

それでは、これ以降の進行につきましては、大道委員長にお願いしたいと存じます。よろ

しくお願いいたします。

(大道委員長)

それでは、これ以降の進行を務めさせていただきます。

では、次第の「2」、「議事録署名人」の指名でございます。

本委員会につきましては、委員による会議録の確認が必要となっております、その確認をいただく議事録署名人は、従前より持ち回りとなっております。本日の委員会については、渡邊委員にお願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

(渡邊委員)

分かりました。

(大道委員長)

ありがとうございます。それでは、よろしくお願いいたします。

それでは、「議題」に入らせていただきます。

はじめの議題「川崎市立病院中期経営計画に基づく令和2年度の取組状況に対する点検・評価及び決算の概況」についてでございます。

本日の委員会では、川崎市立病院中期経営計画に基づく令和2年度の取組や目標の達成度等について、各病院から説明を受け、その妥当性について審議してまいります。

はじめに、「令和2年度の決算の概況」について、事務局から説明をお願いします。

(市川経理担当課長)

経営企画室経理担当の市川でございます。

それでは、お手元の「資料1-1」により御説明いたします。なお、時間の都合により、6ページの「業務実績」、7ページの「経営状況」について説明し、その他のページについては、概要のみ説明させていただきます。

それでは、「令和2年度病院事業決算概況」の3ページをお開き願います。病院事業全体の「業務状況」でございまして、病院ごとの具体的な取組をお示ししております。

次に、4ページをお開き願います。こちらでは、「収支状況」、「患者状況」、「診療収益状況」、「主な建設改良」をお示ししております。

次に、5ページを御覧ください。2の「経営成績」でございます。上から、病院事業合計、直営2病院計、川崎病院・井田病院の内訳、指定管理者制度を導入しております多摩病院についての経営成績をお示ししております。

次に、6ページをお開き願います。3の「業務実績」でございます。こちらでは、病院別の患者延数と診療収益について御説明いたします。上から2つ目の表、川崎病院についてですが、(1)患者延数の入院は、令和2年度は15万5,190人、その下の、外来は、26万6,242

人で、いずれも、前年度から減少しております。(3) 診療収益の入院は、令和2年度は108億3,296万6千円、外来は、43億2,806万8千円で、いずれも、前年度から減少しております。

次に、その下の井田病院を御覧ください。(1) 患者延数の入院は、令和2年度は9万2,578人、外来は、14万2,576人で、いずれも、前年度から減少しております。(3) 診療収益の入院は、令和2年度は45億1,468万2千円、外来は、27億1,043万3千円で、いずれも、前年度から減少しております。

次に、その下の多摩病院を御覧ください。(1) 患者延数の入院は、令和2年度は8万5,797人、外来は、18万6,755人で、いずれも、前年度から減少しております。(3) 診療収益は利用料金制のため、本市病院事業会計の決算に含まれておりませんが、指定管理者からの報告では、入院は、令和2年度は53億6,430万4千円、外来は、26億5,089万1千円で、いずれも、前年度から減少しております。

市立3病院ともに、入院及び外来において患者数が減少しましたが、これは主に新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えや、新型コロナウイルス感染症患者受入病棟での人員確保のため一部病棟の休棟・休床によるものでございます。

続きまして、7ページを御覧ください。4「経営状況比較年次表」でございまして。これは、病院事業の経営状況について、平成30年度から令和2年度までの3か年の推移を税抜き、千円単位でお示ししたものでございます。

このページの一番下から5行目、「純損益」の「令和2年度の決算額」の欄を御覧ください。3病院合計で32億6,528万6千円の純利益で、前年度比28億2,055万9千円の利益増でございまして。これは、新型コロナウイルス感染症に係る補助金などによるもので、さらに、4行上の「経常損益」は、「純損益」から「特別損益」を除いたもので、3病院合計で16億3,581万9千円の経常損失で、前年度比16億7,298万5千円のマイナスでございまして。

続きまして、8ページを御覧ください。5「決算総括表」でございまして、円単位で記載しております。予算執行状況、収益的収支・資本的収支、収支差引不足額に対する財源措置の状況、累積財源過不足額についてお示ししております。

最後に、6「財政健全化法における資金不足比率の状況」でございまして、資金不足となっていないことからバー記号の表示となっております。以上で説明を終らせていただきます。

(大道委員長)

ただいま、事務局から「令和2年度病院事業会計決算概況」につきまして説明がございましたが、何か御意見・御質問等はございますか。

内容的にはかなりの状況が報告で示されていますが、令和2年度は大幅な患者減、あるいは病床数の運用を下げたことによる決算額の減少が大幅であることが分かりました。一方

で、補助金等の受入れによりまして、結果的にはむしろ黒字というのが適当かどうか分かりませんが、それを上回るだけの補助金をいただけたという状況です。

令和2年度はかなり特異な状況ですので、一応説明を承ったということでもよろしいでしょうか。

(委員全員)

異議なし。

(大道委員長)

では次に、各取組の達成度を評価するに先立ちまして、「点検・評価の手法」について、事務局から報告をお願いします。

(関経営企画担当課長)

経営企画室経営企画担当課長の関でございます。

先ほどの議題1の方で資料1-2として、中期経営計画上の目標の数値、それと決算額を比較した資料も載せさせていただいておりますので、後ほど御覧ください。

それでは、各病院から、令和2年度の取組状況に対する点検・評価の結果を御説明いただく前に、改めまして、点検・評価の手法について御説明させていただきますので、資料1-3を御覧ください。

具体的な点検・評価の手法でございますが、2ページを御覧ください。基本的には例年どおりでございますが、まず、資料右下の評価基準のとおり、計画上の各具体的取組に係る成果指標の実績値により、機械的に1から5までの評価を行い、次に、この成果指標と取組内容を総合的に評価し、資料右・中段の評価基準のとおり、AからEまでの5段階で評価します。

さらに、これを計画上の取組項目ごとにまとめまして、資料右・上段の基準のとおり、ローマ数字IからIVまでの4段階で評価します。この中段及び上段の評価につきましては、本日の資料では、各病院による自己評価を記載させていただいておりますが、当委員会での協議結果を踏まえまして、客観的な外部評価とさせていただきます。

また、今後、点検・評価書にまとめる中で、取組課題ごとに、当委員会いただいた御意見等を取りまとめ、総括として記載することとしております。

なお、最終的に点検・評価書としてとりまとめる様式につきましては、お手元の資料1-5から1-7となりますが、量が大変多くなりますことから、本日は、効率的な会議運営の観点から、この内容を取りまとめた資料1-4を用いて、御説明をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

説明は、以上でございます。

(大道委員長)

ただいま、事務局から説明がありました、「点検・評価の手法」につきまして、委員の皆様から、何か御質問等がございますか。

特段無いとのことで、それでは、中期経営計画に記載されている取組課題ごとに、具体的な「取組状況」、「達成度」及び「進捗状況」について、各病院から報告をお願いしたいと思います。

なお、本委員会の時間も限られておりますので、ポイントを絞って報告願います。

(岡川崎病院事務局長)

下線が引いてある取組項目について、各病院から御説明させていただきます。

はじめに、「取組課題1 医療機能の充実・強化」のうち、「取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化」です。

川崎病院の「①救命救急医療の充実」について成果指標の評価はそれぞれ3、5となりました。

評価理由と今後の方向性の欄ですが、三次救急搬送患者応需率は、新型コロナウイルス感染症患者受入体制の確保のため、救命救急センター病棟をコロナ専用病床にしたことなどにより目標値は達成できませんでしたが、前年度と同様ほぼ断ることなく患者を受入れました。

救急自動車搬送受入台数は、目標値は達成できませんでしたが、市内全体の救急搬送件数が減少する中で、前年度と同程度の受入れ台数となりました。

令和2年度より地域の医療機関に向けて緊急の消化器疾患に対応するため「腹急ホットライン」を開設しました。令和元年度に開設した「コロナリーホットライン」は、救急隊からの受入に加え、地域の医療機関からの受入を開始しました。

また、厚生労働省救命救急センター充実度評価は、救急薬剤師の配置などに取り組んだ結果、3年連続でS級の評価となりました。こうした取組も考慮し、令和2年度の達成度はC、ほぼ目標通りとし、進捗状況はⅡ、一定の進捗があるとしました。以上でございます。

(北村井田病院事務局長)

井田病院事務局長の北村でございます。1ページの下段、「①救急医療（初期・二次）の強化」でございます。

成果指標といたしましては、救急自動車搬送受入台数は、新型コロナウイルス感染症対応として、ERと救急後方病床を用いたことにより、目標値を大幅に下回ったことから評価は5、救急患者数につきましても、前年度を上回りましたが、目標値を大幅に下回ったことから、評価は5となりました。

今後は、救急需要が増大する中、受入れ体制の更なる強化を図ってまいります。資料の右の列をご覧ください。達成度は、目標を下回ったことからD、進捗状況といたしましては、

進捗が遅れていることからⅢといたしました。以上でございます。

(相澤多摩病院事務部部長)

多摩病院事務部の相澤でございます。それでは、2ページをご覧ください。「①救急医療(一次・二次)の安定的な提供」でございます。

令和2年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の受入れ、緊急事態宣言の発出による外出制限、医療機関への受診控え、年度後半には、神奈川県より緊急性の低い入院や手術の延期要請があったこと等による影響を大きく受ける中での実績となっております。

成果指標といたしましては、「救急自動車搬送受入台数」が、3,578件と、目標値に対し622件、15%と大きく下回りましたことから評価は5としております。「救急患者数」につきましても7,820人と、目標値に対し5,180人、40%下回り、評価を5といたしました。今後も24時間365日、断らない体制を構築し「救急自動車搬送受入台数」「救急患者数」の目標達成に努めてまいります。

資料の右の列をご覧ください。令和2年度の達成度は目標を大きく下回ったということでE、進捗状況といたしましては、目標達成に向けた進捗が遅れているということでⅢといたしました。以上です。

(岡川崎病院事務局長)

川崎病院でございます。続きまして、3ページをお開き下さい。「取組項目(2)がん診療機能の強化・拡充」の「がん診療機能の強化」です。成果指標の評価は1、3、4となりました。

令和2年度は、神奈川県がん診療連携指定病院の指定を受けて3年目となります。がん登録数は目標を大幅に上回って達成しました。

がん手術件数は、新型コロナウイルス感染症による予定手術抑制の影響もあり、目標値を下回りましたが前年度を上回る手術件数となりました。

令和2年度の達成度はB、進捗状況はI、順調に進捗しているといたしました。以上でございます。

(北村井田病院事務局長)

井田病院でございます。3ページの中段、「①地域がん診療連携拠点病院としての機能強化」でございます。

成果指標といたしましては、がん登録数は、目標を達成していますが、内視鏡検査件数につきましては、平成30年4月から、川崎市の胃がん検診が2年に1度となったことから目標値を大幅に下回る結果となっております。また、新型コロナウイルス感染症の影響で予定手術等の抑制をしたことから内視鏡治療件数、がん手術件数は目標値を大幅に下回る結果となっております。

したがいまして、評価につきましては、1、5、5、5となりました。今後は、安心して治療が受けられるよう、がん診療機能の強化を図るとともに、患者・家族の支援に努めてまいります。

資料の右の列を御覧ください。達成度は、目標値を下回ったことからD、進捗状況は、進捗が大幅に遅れていることから、IVといたしました。以上でございます。

(相澤多摩病院事務部部长)

多摩病院でございます。3ページの下段、「診療機能強化と報告の推進」でございます。

成果指標としましては、「がん登録数」が前年度実績を88件上回ったものの、目安となる目標値を30%近く下回る結果となったことから評価を5、「がん手術件数」につきましては、目安となる目標値を6%上回りましたので、評価を2といたしました。今後も「がん診療機能の強化・拡充」に取り組んでまいります。

資料の右の列を御覧ください。達成度は目標を下回ったということでD、進捗状況といたしましては、進捗が遅れているということでIIIといたしました。以上です。

(大道委員長)

ただいま、「取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化」及び「取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充」について、取組状況、達成度及び進捗状況の説明がありました。何か御意見・御質問等がございますか。

コロナ関連で救急の受入等、やむを得ず制限したと、特に川崎病院からも報告がありましたが、中期経営計画としての評価で、修正の必要があればお願いします。特になければ、当委員会として評価は妥当ということでよろしいでしょうか。

(委員全員)

異議なし。

(大道委員長)

では、各病院から報告の続きをお願いします。

(岡川崎病院事務局长)

川崎病院でございます。続きまして、「取組課題1 医療機能の充実・強化」のうち、「取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実」、「取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進」、「取組項目(5) その他医療提供体制の強化」について、御説明させていただきます。

4ページをお開き下さい。「取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実」のうち、「①小児・周産期医療の確保」です。成果指標の評価は5、5、5となりました。

周産期救急患者受入数は、目標を大幅に下回りましたが、周産期医療に携わる医師を安定

的に確保できた結果、産科の周産期救急患者の応需率は令和元年度の65%から83%に上昇しました。NICU及びGCUにおける新規入院患者数は減少しました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で分娩のキャンセルや転院の希望があり、分娩件数は前年度を下回り、目標を大幅に下回りました。今後も近隣周産期医療施設との連携を維持してまいります。

令和2年度の達成度はE、進捗状況はIV、進捗が大幅に遅れているといたしました。以上でございます。

(北村井田病院事務局長)

井田病院でございます。5ページの上段、「②成人疾患医療の充実」でございます。

成果指標といたしましては、糖尿病教育入院では1週間及び2週間の2種類のコースを設け、糖尿病に関する知識の習得や糖尿病食を経験していただくほか、眼科、歯科等全身の検査を行っています。実患者数は、目標値を大きく上回っていることから評価は1となりました。

専門外来の設置数につきましては、新たにヘルニア外来を設置するなど、患者の医療ニーズに合わせた支援を行い、目標値を大幅に上回ったことから評価は1となりました。

今後につきましても、広範囲にわたる成人疾患に対する質の高い医療の提供を目指してまいります。

資料の右の列、達成度は、目標を大きく上回って達成したことからA、進捗状況は、目標達成に向けて順調に進捗していることから、Iといたしました。以上でございます。

(相澤多摩病院事務部部長)

5ページの下段「②脳神経外科における診療の充実」でございます。

成果指標といたしましては、「脳血管系造影件数」・「入院・外来延患者数」とともに目標値を下回ったことから評価は5といたしました。今後も「脳神経外科医の安定的な確保」・「血栓溶解療法(t-PA治療)の実施」・「専門外来の継続」に取り組んでまいります。

資料の右の列を御覧ください。達成度は目標を大きく下回ったということでE、進捗状況といたしましては、進捗が大幅に遅れているということでIVといたしました。以上です。

(岡川崎病院事務局長)

川崎病院でございます。6ページをお開き下さい。「取組項目(4)医療機能の分化・強化、連携の推進」のうち、「①地域医療連携の推進」でございます。成果指標の評価は、3、1、1、1となりました。紹介率と逆紹介率は前年度より増加しました。

新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが「地域医療連携の会」をZoomによるオンラインで開催するなど、地域医療機関と連携強化に努めました。

検査機器の共同利用については、特にPET-CTの利用促進のため近隣医療機関へ訪問を行

うなどし、検査機器の共同利用件数は令和元年度を上回り、目標値も大幅に上回りました。今後も利用促進のため医療機関の訪問等、取組を行ってまいります。

令和2年度の達成度はA、進捗状況はI、順調に進捗しているといたしました。以上でございます。

(北村井田病院事務局長)

井田病院でございます。6ページの下段、「②医療依存度の高い患者に対する在宅医療の提供」でございます。

成果指標といたしましては、医療依存度が高い患者に対する往診患者実数は、目標値を大幅に下回ったことから評価は5となりましたが、退院前後訪問を強化するなど退院患者の在宅医療への不安を軽減し、退院支援の充実に努めました。

また、24時間連携登録医からの受入患者数は、在宅療養後方支援病院として、受入れ態勢の強化、積極的な広報等を行った結果、目標値を大幅に上回ったことから評価は1となりました。今後につきましても患者の個別性を尊重した在宅医療提供の充実に努めてまいります。

資料の右の列をご覧ください。達成度は、目標を上回って達成したことからB、進捗状況は、進捗が遅れていることからⅢといたしました。以上でございます。

(相澤多摩病院事務部部長)

多摩病院でございます。7ページの「①地域医療支援病院の運営と強化」でございます。

成果指標といたしまして、「紹介率」・「逆紹介率」においてはそれぞれ目標値を上回りましたことから評価は1、「検査機器の共同利用件数」に関しては目標値を下回りましたので評価は5といたしました。今後も「登録紹介医制度の推進」、ならびに「検査機器等の共同利用の推進」に取り組んでまいります。

資料の右の列を御覧ください。達成度は目標を上回って達成ということでB、進捗状況といたしましては、順調に進捗ということでIといたしました。以上です。

(岡川崎病院事務局長)

川崎病院でございます。8ページをお開きください。「取組項目(5) その他医療提供体制の強化」のうち、「③リハビリテーション機能の強化」です。成果指標の評価は3、1となりました。

自宅等に退院した患者の割合は前年度よりやや下がりましたが、目標を概ね達成しました。

リハビリテーション実施単位数は、新規採用職員の適正な育成、院内での連携強化に取り組んだ結果、10万単位を超え、目標値を大幅に上回りました。

早期離床の推進について、ICUや新型コロナウイルス感染症患者受入病棟を中心にリハビ

リを行い、一般病床に転床後も継続してリハビリテーションが受けられるよう、実施体制の拡充を行いました。

令和2年度の達成度はB、進捗状況はⅡ、一定の進捗があるといたしました。以上でございます。

(大道委員長)

ただいま、「取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実」、「取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進」、「取組項目(5) その他医療提供体制の強化」について、取組状況、達成度及び進捗状況の説明がありました。何か御意見・御質問等がございますか。

この項目もコロナの影響があると言いながら、しっかり御対応していただけている病院もあって、成果を上げておられるように感じました。

それでは、特段の御意見が無ければ、各病院から行っていただいた報告のままで承認ということよろしいでしょうか。

(委員全員)

異議なし。

(大道委員長)

では、各病院から報告の続きをお願いします。

(岡川崎病院事務局長)

続きまして、9ページをお開き下さい。「取組課題2 医療の質と患者サービスの向上」のうち、「取組項目(1) 人材の確保と育成の推進」でございます。

川崎病院の「①医療従事者の確保」について成果指標の評価は5、1となりました。

職員満足度調査における「職場に対する総合的な職員満足度」は目標値を大幅に下回りましたが、前年度よりわずかに改善しました。

令和2年度の達成度はC、進捗状況はⅢ、進捗が遅れているといたしました。以上でございます。

(北村井田病院事務局長)

井田病院でございます。10ページをお開きください。上段の「①医療従事者の確保」でございます。

成果指標といたしましては、職場に対する総合的な職員満足度は前年度より上昇しているものの、目標値を大幅に下回ったことから評価は5となりました。

また、レセプト査定率につきましては、前年度より改善はしているものの、目標値を大幅に下回ったことから評価は5となりました。レセプトの査定率につきましては、毎月の保険

委員会において、算定ルール等の周知を行うとともに、各診療科の状況に合わせた取組を進めてまいります。

資料の右の列を御覧ください。達成度は、目標を大きく下回ったことからE、進捗状況は、進捗が大幅に遅れているということでIVといたしました。以上でございます。

(相澤多摩病院事務部部长)

多摩病院でございます。11ページの「①医療従事者の確保」でございます。

成果指標といたしまして、「基幹型臨床研修医の受入れ」・「医師事務作業補助者の人数」とともに目標値を上回りましたことから、評価を1といたしました。

今後も医療従事者の確保に対し「病院実習生の受入れ」、ならびに「病院見学・インターンシップの受入れ」に継続して取り組んでまいります。

資料の右の列を御覧ください。達成度は目標を大きく上回って達成ということでA、進捗状況といたしましては、順調に進捗ということでIといたしました。以上です。

(岡川崎病院事務局长)

川崎病院でございます。13ページをお開き下さい。「取組項目(3)患者に優しい病院づくり」のうち、「積極的な情報発信と相談体制の強化」です。成果指標の評価は3、5となりました。

入院患者満足度は目標値を達成できませんでしたが、課題である「快適性」の向上のためシャワー室の改修工事を実施し、清潔で快適に使用できるようになりました。また、ポケットの追加導入など、外国人対応医療機関として環境整備を行いました。

外来患者満足度調査は、前年度より実績値は改善したものの、目標値を達成できませんでした。今年度から総合案内に看護職員を配置し、来院者の案内や誘導を行いホスピタリティの向上を進めています。

令和2年度の達成度はD、進捗状況はⅢ、進捗が遅れているといたしました。以上でございます。

(北村井田病院事務局长)

井田病院でございます。13ページの中段、「市民に信頼される医療の提供と分かりやすい情報の発信」でございます。

成果指標といたしましては、入院患者満足度は、目標を概ね達成していることから評価は3、外来患者満足度につきましても前年度実績を上回り、目標を達成していることから評価は3となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響で「市民公開講座」は開催できませんでしたが、地域の医療機関や企業等へ出向き新型コロナウイルス感染症への対策を解説する「出張講座」を年度内に8回開催しました。また、病院ホームページに新型コロナウイルス感染症関連の専用

ページを作成するなど、積極的な情報発信を行いました。

今後は、患者本位の医療の提供に努めるとともに、患者に分かりやすく利用しやすい情報の積極的な発信など、患者サービスの向上に努めてまいります。

資料の右の列を御覧ください。達成度は、ほぼ目標どおりのC、進捗状況は、目標達成に向けて一定の進捗がありましたことから、IIといたしました。以上でございます。

(相澤多摩病院事務部部长)

多摩病院でございます。13ページ下段の「分かりやすい情報提供と利用しやすい施設の強化」でございます。

成果指標といたしましては、「入院患者満足度」、及び「外来患者満足度」、ともにそれぞれ目安となす目標値を上回りましたので評価は3といたしました。

今後も「医療相談センターにおける患者相談窓口の一元化」・「ホームページの内容の充実」・「市民健康講座の開催」に取り組んでまいります。

資料の右の列を御覧ください。達成度はほぼ目標どおりということでC、進捗状況といたしましては、一定の進捗があるということでIIといたしました。以上です。

(大道委員長)

ただいま、「取組課題2 医療の質と患者サービスの向上」について、取組状況、達成度及び進捗状況の説明がありました。何か御意見・御質問等がございますか。

(渡邊委員)

よろしいでしょうか。

(大道委員長)

お願いします。

(渡邊委員)

患者満足度調査の結果で、川崎病院の外来患者満足度の結果が非常に低かったのですが、原因はどのようなことが考えられるのでしょうか。予約外来が徹底されていないのか、待ち時間が長いのか、あるいは外来の医師に比べて患者数が多すぎるのか、どのようなことが原因なのでしょうか。

(大道委員長)

川崎病院お願いします。

(金井川崎病院長)

本件については、担当副院長の野崎から説明いたします。

(野崎川崎病院副院長)

川崎病院副院長の野崎でございます。

基本的には待ち時間が長いというところが一番大きいと思います。待ち時間が長くなる要因としては、やはり中々、診療所に逆紹介できていない患者さんがいることと、予約が無くても断らないで診ているということがありまして、待ち時間が長い外来が一部診療科でございます。

(大道委員長)

長年の川崎病院の課題と言うことで、令和2年度で改善に向けて努力された点、先ほどの説明では少し不足していると思いますが、改めて令和2年度の取組について何かありませんか？

(野崎川崎病院副院長)

待ち時間が短くなるわけでは無いのですが、スマートフォンアプリで、順番が近づいてきたら連絡が来るといったシステムを導入しております。ただ、基本的にスマートフォンが使えるくらいの年齢、世代の人たちが主体になりますので、患者層が厚い高齢者はほとんど登録されていない状況は事実でございます。

(金井川崎病院長)

直接的では無いのですが、病院自体外来患者数を縮小しようという試みは、色々な科で進めてきています。ただ、川崎病院は一次診療を担っている部分もあって、特に小児科ですが。かなり外来患者さんを制御しておりますが、難航しているという側面もあります。

あと、最近思っているのは会計の時間を短くするために、クレジットカードを登録しておけば、会計をせずに帰っても後から診療費が引き落とされる仕組みがあるのですが、そのシステムの導入を検討しています。

(大道委員長)

渡邊委員、どうでしょうか？今の川崎病院の取組の紹介について。

(渡邊委員)

日本の病院はアメリカの病院と違って、厚生労働省の目指すように必ずしも外来患者を少なくできない。それで、入院日数は減らすことはできても、その分外来で精査するという形が非常に増えております。それから、治療が長引けばどうしても外来の患者さんが増えてしまいます。

やむを得ないこともあると思うのですが、ちょっと満足度が低すぎるので、医師や看護師の努力のわりに、それが報われていないのではないかということで、もう少し工夫の余地があるのかなと思ってお聞きした次第です。難しいことは非常によく理解できます。

(大道委員長)

病院外来というのは長年の課題で、特に自治体病院はどうしても紹介患者に限ることや、予約診療の徹底というのは中々難しい。当委員会でも毎年の課題と言うわけではありませんが、スマートフォン対応や、今のクレジットカードによる待ち時間短縮なども、試みようとしておられるのはよく理解できます。

評価結果について、疑問があるということでは無いということによろしいですね。ありがとうございます。

他に何か御意見等ございますでしょうか？

特になければ、全てコロナの影響というのはいかがなものかとは言いながら、外来業務も含めて重大な影響があったというのは間違いないわけです。その中で患者満足度、あるいは職員の確保等々、状況をお聞かせいただきました。御説明いただきました「取組課題2 医療の質と患者サービスの向上」についても、評価結果の取りまとめについては特に異論は無いと、このまま承認してよいでしょうか。

(委員全員)

異議なし。

(大道委員長)

では、各病院から報告の続きをお願いします。

(岡川崎病院事務局長)

川崎病院でございます。続きまして、14ページをお開き下さい。

「取組課題3 強い経営体質への転換」のうち、「取組項目(1) 収入確保に向けた取組の推進」です。川崎病院の成果指標の評価は4、1、1、5となりました。

医業収益は、前年度より下回っていますが、入院診療単価や外来診療単価は実績値が前年度を大幅に上回りました。特に入院診療単価については総合入院体制加算2の取得や新型コロナウイルス感染症患者への対応により上昇しました。

令和2年度の達成度はC、進捗状況はⅡ、一定の進捗があるといたしました。以上でございます。

(北村井田病院事務局長)

井田病院でございます。14ページの中段を御覧ください。

成果指標といたしましては、医業収益の額は、診療科ごとに稼働額の目標値を設定し、収益の確保に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症への対応として、外来及び入院診療の一部制限を行った影響もあり、目標値を大幅に下回ったことから評価は5、病床利用率につきましても、診療制限の影響で目標値を大幅に下回ったことから評価は5となりました。

今後も平均在院日数の短縮、未収金対策の強化、医療機能の充実・強化等による診療収益の確保に取り組んでまいります。

資料の右の列を御覧ください。達成度は、目標を下回ったことからD、進捗状況といたしましては、進捗が遅れていることから、Ⅲといたしました。以上でございます。

(相澤多摩病院事務部部長)

多摩病院でございます。14ページ下段を御覧ください。

成果指標といたしまして、「医業収益の額」の評価は4、「入院患者1人1日当たり診療収入(入院診療単価)」の評価は1、「外来患者1人1日当たり診療収入(外来診療単価)」の評価は「1」、「病床利用率」の評価は5といたしました。

今後も「医療機能の充実・強化による診療収益の確保」・「精度の高い診療報酬請求」・「未集金督促・催告の強化」に取り組んでまいります。

資料の右の列を御覧ください。達成度はほぼ目標どおりということでC、進捗状況といたしましては、一定の進捗があるということでⅡといたしました。以上です。

(岡川崎病院事務局長)

川崎病院でございます。続きまして15ページをお開き下さい。「取組項目(2)経費節減に向けた取組の推進」でございます。川崎病院の成果指標の評価は5、5となりました。

職員給与対医業収益比率は、医業収益が減となったことが影響し前年度に比べ悪化したことから目標値を大幅に下回りました。

委託費対医業収益比率も同様に医業収益の減が影響し前年度に比べ悪化しましたが、委託料は令和元年度決算額より削減されています。

今後も各所属の協力を得ながら保守契約の内容見直しを進めるなど、委託料の抑制に取り組んでいきます。

令和2年度の達成度はE、進捗状況はⅢ、進捗が遅れているといたしました。以上でございます。

(北村井田病院事務局長)

井田病院でございます。15ページの中段を御覧ください。

令和2年度は、ベンチマークシステムを活用した診療材料の価格交渉、高額医療機器の入手手法の変更など経費削減に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により

医業収益が大幅に減少したことから、職員給与費対医業収益比率、委託費対医業収益比率は、目標値を大幅に下回ったことから評価は5となりました。

今後も、効果的な高額医療機器の購入手法や、より安価な診療材料の購入、効率的な在庫管理等経費削減に取り組んでまいります。

資料の右の列を御覧ください。達成度は、目標を大きく下回ったことからE、進捗状況といたしましては、進捗が大幅に遅れていることからIVといたしました。以上でございます。

(相澤多摩病院事務部部长)

多摩病院でございます。15ページ下段を御覧ください。

成果指標といたしまして、「職員給与費対医業収益比率」、及び「委託費対医業収益比率」とともに評価は5といたしました。今後も「適正な在庫管理」・「業務効率化による時間外勤務の縮減」に取り組んでまいります。

資料の右の列を御覧ください。達成度は目標を大きく下回ったということでE、進捗状況といたしましては、進捗が大幅に遅れているということでIVといたしました。以上です。

(大道委員長)

ただいま、「取組課題3 強い経営体質への転換」について、取組状況、達成度及び進捗状況の説明がありました。何か御意見・御質問等がございますか。

(野中副委員長)

よろしいでしょうか。

(大道委員長)

お願いします。

(野中副委員長)

15ページをお願いします。経費削減に向けた取組の推進ということで、いずれの病院も成果指標が5になっております。いずれも5であることに対して、川崎病院は進捗状況がⅢ、進捗が遅れているのですが、他の2病院は同じ5でも進捗が大幅に遅れているという記載なのですが、単純に考えてどこが違うのか、理由があったら御説明ください。

(大道委員長)

はい、ありがとうございます。それでは病院の立場から、まずは川崎病院。何故、進捗状況をⅢにしたのか、御回答ください。

(岡川崎病院事務局长)

率は目標値を達成できていないのですが、例えば委託料についても先ほど御説明しましたとおり、令和元年度決算額より削減できているというような実績もありますので、そうしたことも考慮してⅢといたしました。

(大道委員長)

他の病院は先ほどの説明があったとおりですが、要するに病院の中での、各項目の改善状況の違いとのことですが、野中副委員長どうでしょうか。

(野中副委員長)

結構です。

(大道委員長)

ここは機械的にEであるからⅢなのかⅣなのかというところは中々微妙なところがあります。機械的にEになるから各病院とも同じ進捗状況になるということでは無いということは、一応は理解できることですので。

(野中副委員長)

もう一点よろしいでしょうか。

(大道委員長)

お願いします。

(野中副委員長)

14ページをお願いします。収入確保に向けた取組の推進というところですけども、病床利用率が川崎病院は若干の減少であるのに対して、井田病院と多摩病院がかなり前年実績と比べて下がっております。それで質問なんですけど、コロナの為に病床確保の要請があったと思いますが、要請に応じて病床を確保されて、実際には入院されていない場合には、病床は利用されているということで、カウントされているのでしょうか。

(大道委員長)

今の御質問は大事ですので、川崎病院をお願いします。

(金井川崎病院長)

休床にしていた病棟はもちろんありますが、それも含めた分母になっています。

(大道委員長)

川崎病院はコロナ発生以前から休床の状態があると思います。その流れの中でこうなったということによろしいでしょうか。

(金井川崎病院長)

少し違います。元々川崎病院は病床利用率が低いのですが、低くならざるを得ない病棟があるからというのが理由です。ただ、母数となる病床数はコロナで休棟、要するに病棟を一つ、二つ閉じた時期がありますが、713床という分母は変わらず、その分母を使った数字で出しています。

(大道委員長)

休床の病床は元々カウントされて、分母は共通ということでやってこられたようです。川崎病院、その認識で良いでしょうか？

(金井川崎病院長)

そのとおりです。

(大道委員長)

空床確保における病床の運用というのは結構難しい、現場的にはやっかいなことがあるようでして、予備床を一定程度確保すると、他の病床は動かすことができないといった、個別の状況があるなど色々事情は聞いております。

いずれにしても今回のコロナ対応における病床利用率の変動は、市立3病院それぞれ実情がおありのようで、さっきの報告はそれを受けた形で、川崎病院は65.4%、井田病院が66.2%、多摩病院は64.9%と似たようなところがありますが、前からの状況を引きずってこうなっていると、それで評価の結果もこの様になっているとのこと。

毎回コロナの影響でという言葉が枕に置くのはいかがなものかと言うものの、しかし一般的に見たら利用率は減っていることは間違いないです。このような感染症を受入れるとなると様々なところに影響するのは間違いないのですが、評価結果について疑問があるということでは無いということによろしいですね。ありがとうございます。

他に何か御意見等ございますでしょうか？場合によっては全体を通じての質問でも構いません。

(堀田委員)

よろしいでしょうか。

(大道委員長)

お願いします。

(堀田委員)

純粋な質問でございます。13ページの患者満足度調査についてですが、調査方法については市立3病院とも同じ形式で、同じ時期といった、統一性のある内容で実施されているのでしょうか。この数字がそのまま比較できるものなのか、伺いたいと思っておりましたので、御回答の程よろしくをお願いします。

(大道委員長)

この項目については病院局でお願いします。

(関経営企画担当課長)

私の方から御説明いたします。まず、川崎病院及び井田病院につきましては、基本的には同じ時期、同じ内容で調査を行っております。年に1回、夏から秋にかけて、一定の期間を設けて外来患者、入院患者を対象として実施をしております。

多摩病院については、詳細については承知しておりませんが、コロナ前は年に2回行っていた調査を、昨年度は1回にしたというところまでは聞いておまして、期間、実施方法については把握しておりませんので、よろしければ多摩病院から補足いただければと思います。

(大道委員長)

多摩病院の方で、他の2病院と比較して調査方法等の違いについて把握されているのであれば、御発言いただけますでしょうか。

(相澤多摩病院事務部部长)

多摩病院でございます。先ほど御発言にございましたが、普段は年2回行っていた調査を、コロナ禍ということもありまして年1回に留めまして、その数字がそのまま報告に上がっているところでございます。

(大道委員長)

質問項目はどうでしょうか。他の2病院と相当違うのでしょうか？

(相澤多摩病院事務部部长)

具体的に比較したことは無いですので、今後検証させていただければと存じます。

(大道委員長)

分かりました。多摩病院は指定管理者方式ですので、その辺りは全面的に病院の裁量でや

っておられるようです。

いかがでしょうか、看護協会のお立場で何かございますか？

(堀田委員)

ありがとうございます。御説明の内容を踏まえて、報告された数字を拝見させていただきます。

(大道委員長)

患者満足度については、若干ハードルが高いという御意見が繰り返しあったという中で、令和2年度についてはこの様であったということで、先ほども報告がありました。ありがとうございました。

改めまして、「取組課題3 強い経営体質への転換」の評価については、各病院からの報告のとおりでよろしいでしょうか。

(委員全員)

異議なし。

(大道委員長)

全体を通じて評価結果について、改めて何か御意見等ございますでしょうか？

良ければ、令和2年度については、今日御報告いただいた、いわば各病院それぞれのお立場からの評価・判定については妥当ということにさせていただきます。

(委員全員)

異議なし。

(大道委員長)

それでは、その様にさせていただきます。

では事務局から、この点検・評価のとりまとめについて、御説明をお願いいたします。

(関経営企画担当課長)

本日は貴重な御意見、ありがとうございました。この点検・評価書の今後の取りまとめについて御説明いたします。

本日いただきました御意見を取りまとめるとともに、今回の議事録ができましたら、その確認と合わせて意見照会の文書を送らせていただきますので、後日お気付きの点や御意見等を御返送いただければと存じます。そちらをまとめまして、最終的な点検・評価書の形にまいります。

点検・評価書は、11月に予定しております次回の委員会で最終的に御確認いただいた後、製本のうえ関係機関へ送付し、ホームページ上でも公開する予定でございます。以上でございます。

(大道委員長)

ただ今事務局から、「点検・評価のとりまとめ」について説明がありました。御意見・御質問等がございますか。特になければ、以上で、1つ目の議題が終了となります。

それでは次の議題、「川崎市立病院中期経営計画に基づく5か年の成果について」、事務局から説明をお願いします。

(関経営企画担当課長)

病院局経営企画室の関でございます。

それでは、川崎市立病院中期経営計画に基づく5か年の成果について、御説明させていただきますので、資料2を御覧ください。

表紙に記載がございますとおり、本資料は、中期経営計画の計画期間内における取組項目ごとの進捗状況・成果指標・財務指標の推移をとりまとめたものでございます。

1枚おめくりいただきますと、はじめに、取組項目ごとの進捗状況の推移をとりまとめた資料がございます。

1ページ目は、「取組課題1 医療機能の充実・強化」に係る5つの取組項目ごとの、5か年の進捗状況をローマ数字のⅠからⅣまでの4段階でお示ししております。

このうち、ローマ数字のⅢ、進捗が遅れていると、ローマ数字のⅣ、進捗が大幅に遅れているものにつきましては、網掛けをしております。

川崎病院につきましては、5つの取組項目ともに進捗しておりますが、井田病院につきましては、4つの取組項目、多摩病院につきましては、1つの取組項目の進捗が遅れております。

次のページを御覧ください。左側は、「取組課題2 医療の質と患者サービスの向上」に係る3つの取組項目、右側は、「取組課題3 強い経営体質への転換」に係る3つの取組項目でございます。進捗状況は御覧のとおりでございます。

1枚おめくりいただき、3ページを御覧ください。こちらから21ページまでは、成果指標に対する5か年の達成度を、アルファベットのAからEまでの5段階でお示ししておりますので、後ほど、御参照いただければと思います。

22ページを御覧ください。先ほど、令和2年度の収支目標値と決算額の比較を御報告いたしましたが、こちらからは、平成27年度から令和2年度までの5年間について、それぞれ収支目標値と決算額の比較をお示ししておりますので、後ほど、御参照いただければ存じます。

28ページを御覧ください。こちらは、病院事業全体の財務指標のうち、単年度の「経常

収支」と「資金収支」の「目標値と実績値」を棒グラフで、累積の「資金残高」の「目標値と実績値」をマル印の折れ線グラフでお示ししております。

全体的に、「実績値」が「目標値」を下回っている傾向がありまして、令和2年度の資金収支だけは、大幅に上回っている状況でございます。

なお、次のページには、直営2病院のグラフをお示ししておりますが、傾向は病院事業全体と同様でございます。説明は以上でございます。

(大道委員長)

ただいまの説明につきまして、委員の皆様から御意見・御質問をいただきたいと思っております。いかがでしょうか。

自治体病院が置かれている、あるいは、地域の中での役割とその運営、経営の5か年の推移、当委員会としては一生懸命、真摯に評価をさせていただいたのですが、それによって少しでも改善が図られて、財務上も向上が得られれば、これは大変結構なんです、中々現実には難しいというのがあるというのが受け止めた形です。

特になければ、以上で、2つ目の議題が終了となります。

それでは次の議題、「次期中期経営計画の取組内容（案）及び指標の設定について」、事務局から説明をお願いします。

(関経営企画担当課長)

病院局経営企画室の関でございます。

それでは、「次期中期経営計画の取組内容（案）及び指標の設定について」御説明いたしますので、資料3を御覧ください。

書面会議で実施した第1回運営委員会にて、次期中期経営計画の5つの基本方針、各病院共通の5つの取組課題とそれにつながる各取組項目について案をお示しし、委員の皆様にご確認をいただきました。

そこで今回は、各取組項目の下につながる取組内容について、各病院で検討した内容をたたき台として御用意させていただきました。1ページには川崎病院の施策体系のたたき台を示しています。2ページには井田病院、3ページには多摩病院と続き、5ページ以降のA3版の資料には、各病院の具体的な取組を一覧表で示しています。

恐れ入りますが、1ページにお戻りください。黒塗りに白文字で示す「取組内容」は各病院共通のものと、病院の特徴に応じた独自のものがございまして、「取組内容」の右側余白に目を移していただきますと、【新規】、【独自】と記載されているものがあります。「取組内容」の右側余白に何も記載がないものは各病院共通の取組内容でございましては、一番上の「救命救急医療の充実」がその例です。

また、【新規】とあるのは、今回新たに各病院が独自に設けた取組項目、【独自】と記載があるものは、従来計画に引き続き、病院独自で取り組む項目です。例えば川崎病院では、取

組課題1取組項目2の「がん診療機能の強化・拡充」の「①高度手術医療の推進」が【新規】の取組項目となります。その具体的な内容でございますが、5ページを御覧ください。1番上の項目、「1高度手術医療の推進」として「5大がん(胃・大腸・肝・乳・肺)の手術治療、脳外科、婦人科、泌尿器科、耳鼻科、皮膚科が扱うがんの手術治療に積極的に取り組むとともに、低侵襲な鏡視下手術、内視鏡手術を推進します。また、ロボット手術センターを適切に運営します。」としております。

1ページにお戻りいただきまして、このように川崎病院では独自項目が2、新規項目が6、2ページ目の井田病院では独自項目が2、多摩病院では新規項目が2となっております。従前の計画と比べ取組内容が増えていることにはなりますが、これは、先ほど資料2で御報告をいたしましたとおり、進捗が遅れている取組について引き続き取組を進める必要があることに加えまして、更なる高齢化の進展や、新型コロナウイルス感染症など新たな新興感染症への対応や、近年の気候変動を踏まえた水害への対策、デジタル化や地域・社会への貢献などの新たな課題に対応するためでございます。

まだ、検討段階ではありますので、今後、委員の皆様からの御意見も加味して検討していければと考えております。説明は、以上でございます。

引き続きまして、次期中期経営計画の策定に向けて、評価方法の変更を検討しておりますので、その案について説明いたします。資料4を御覧ください。

1ページには従来の評価方法をお示ししています。従来の中期経営計画では、□で囲った「成果指標」の評価をベースに、成果指標の評価と、それ以外の状況も勘案して、「取組」、「取組項目」を評価し、「取組課題」として総括を行っています。

2ページを御覧ください。従来の評価方法の特徴は、取組内容と成果指標が一对一でつながっています。そのため分かりやすい部分ではありますが、成果指標が1つの取組に制限される傾向にあります。

例えば、図に示す取組内容「救命救急医療の充実」に対しては、「三次救急搬送患者応需率」と「救急自動車搬送受入台数」が「成果指標」となっておりますが、この「成果指標」は、図の下段左の取組内容「医療機能再編整備の推進」による医療機能の強化や、図の下段右の取組内容「医療従事者の確保」による救急科医師の強化によっても影響があるはずのものです。

しかしながら、現状の評価方法では、取組内容「医療従事者の確保」の「成果指標」は、「職場に対する総合的な職員満足度」と「レセプト査定率」であり、取組内容を適切に評価できていないおそれがあります。

3ページを御覧ください。そこで、新たな評価方法のイメージとして、一つの取組内容に対して、複数の関連する成果指標を設定してはどうかと考えております。

ここでは取組内容「救命救急医療の充実」に対し、複数の関連する「成果指標」を示しています。これにより、特定の成果指標を達成するための取組ではなく、様々な成果指標に効果を及ぼす取組として、本計画を活用することが可能となります。

提案する共通の成果指標の案を4ページにお示ししております。いずれの指標も病院の現状、実力を示す重要な因子であると考えますが、これらの指標の追加や削除については、今後の議論の中で御相談したいと考えております。

5ページを御覧ください。成果指標と取組内容の関係を模式的にお示ししております。各病院共通の成果指標の中から、該当する取組内容に「関連する成果指標」や「具体的な取組(活動指標)」これは従来の点検・評価書の右側のページに示していた項目ですが、それらを参考に、外部要因などの定性的評価を加え、総合的に評価するものです。

6ページを御覧ください。こちらは共通成果指標案と各取組課題、取組項目、取組内容との関係を、こちらの想定で示したものですので、別途御覧ください。

共通成果指標案については、改めて別の機会に議論をお願いしたいと思いますが、評価方法変更案として以上の内容を検討しているところでございますので、御意見を頂戴できればと考えております。説明は、以上でございます。

(大道委員長)

ありがとうございます。ただいまの説明につきまして、ややいきなりの御説明で、最後のようですから、やや時間も欲しいところですが、今の段階で委員の皆様から御意見・御質問をいただきたいと思っております。いかがでしょうか。

(野中副委員長)

よろしいでしょうか。

(大道委員長)

お願いします。

(野中副委員長)

資料3の5ページをお願いします。取組内容案の取組項目2、高度手術医療の推進ということで、ロボット手術センターを適切に運用しますという記載があるのですが、質問としては、ロボット手術センターは既にあるのでしょうかということと、今、お話を聞く時間も無かろうかと思うので、もしロボット手術センターがあれば市民の方が何らかの方法で知ることができるのでしょうか。例えばホームページなどで開示されていたりするのでしょうか。その2点が質問です。

(大道委員長)

この項目については川崎病院でお願いします。

(金井川崎病院長)

ロボット手術センターというのは既に、今月設置しました。ただ、これは患者さんに向けての仕組みというよりは、病院の中でのロボット手術の運用をより精緻で効率よくするための組織でございます。

現在、ロボット手術を行っているのは泌尿器科がメインで、前立腺の手術などを行ってきたのですが、つい先月、初めて消化器外科の領域でもロボット手術を始めました。

ロボット手術というのはダ・ヴィンチという装置を使っているのですが、1台しかありませんので、複数の診療科でどのように運用していくか。あるいは手術時に使うデバイス等は非常に高価なもので、これをどのように効率良く使うか。あるいはダ・ヴィンチも相当年数が経過しているので、次のロボットはどのような機種にするかといったことを院内で取りまとめる仕組みとして考えたものでございます。

ということで、外に向けて設置したものでは無いということです。

(大道委員長)

今の説明について、野中副委員長どうでしょうか？

(野中副委員長)

はい、ありがとうございました。

(大道委員長)

これは川崎病院のいわば内部組織というわけではありませんが、ダ・ヴィンチ等のロボット手術を効果的に行う上での今後の対応ということで承りました。ありがとうございました。

当委員会としては、評価の手法、新しい中期経営計画に向けて、病院局は精力的に検討していただいていると受け止めておりますが、何か今日の段階で御意見・御質問あれば、いただきたいと思えます。

(野中副委員長)

よろしいでしょうか。

(大道委員長)

お願いします。

(野中副委員長)

具体的にここということは無いのですが、資料1-4をお願いします。令和元年度の実績値、それから令和2年度の目標値、更に令和2年度の実績値と記載があるのですが、見ていると令和2年度の目標値が実績とかなり乖離している指標が散見されますので、あまり目

標が実績と乖離すると意味の無いものになってしまいますので、その点をなるべく、4年間の話ですけれども目標値の設定において、なるべく実績値を基準に策定できたらお願いしたいと思います。

(大道委員長)

この委員会でも繰り返し御意見があったところで、改めて御指摘いただいたわけですが、病院局から改めて、この問題について簡潔に御説明ください。

(関経営企画担当課長)

資料1-4を御覧いただければ幸いです。成果指標に対しての実績値ということで比較をしていく形になります。先ほども申し上げたとおり、ここに成果指標を出してしまいますと、取組項目と1対1というように見えてしまうところがありますので、まずは成果指標ではなくて、この成果指標が置いてある部分には活動指標を設けていくのかなと思っております。

この取組を強化するために具体的にどんな取組をどれだけやっていくのか。それを達成した結果、病院全体として設定をしている成果指標にどういった影響があったのかを評価する形にしたいと考えておりますので、この場所、この部分については活動実績という形になりますので、目標値を超えていれば更にどうするんだという議論をさせていただいて、ただ、活動実績なので目標の修正はしやすいのかなと考えております。

成果指標も修正はできるのですが、それが病院全体に影響を及ぼすような成果指標でありますと計画期間内で修正するのはかなり議論が必要になるのかなと考えておりますので、まずは活動指標に置き換える形で検討していきたいと思っております。

また、度々御指摘をいただいておりますけれども、既に高い結果が出ている指標に対する評価の手法であるとか、前年度は上回っているけれども目標値を下回っているとか、そういった形の評価手法についても改めて検討させていただければと思います。以上になります。

(大道委員長)

今までは決して機械的ではないでしょうけれども、目標値の設定が現実的ではないというか、要するにハードルが高すぎて色々取り組んでも現実味が無いとのことで、現場のインセンティブ、モチベーションにはつながらないというか、なかなかできないことは無理ですという話になってしまうのは、却って評価をする意味合いというのが薄まるという御指摘は繰り返しありました。

今は実績値の話が出ましたが、目標管理というものが改善に向けた基本ですので、その目標の捉え方、レベルの置き方などについて、先ほど御説明があったのですが、細かすぎて今日のところは見えない部分はあったのかなと受け止めておりますが、事務局は御理解いただけていると思いますので、しっかり取り組んでいただいて、次期中期経営計画における評

価の在り方、今言ったような御指摘の点なども含めて御検討いただけたらと思います。

他に何か御発言などはございますか。よろしいでしょうか。特になければ、以上で、3つ目の議題が終了となります。

それでは次の議題、「その他」について、事務局から説明をお願いします。

(関経営企画担当課長)

それでは、その他の議題として、「今後の開催日程」について御報告しますので、資料5を御覧ください。

第3回委員会の開催予定につきまして、事前に委員の皆様の御予定を確認させていただき、資料のとおり、11月22日月曜日の13時から15時です。

また、第4回につきましては、3月14日月曜日の13時から15時で開催させていただきたく存じます。御都合の方、よろしくお願いいたします。

ただ、今回中期経営計画の取組のたたき台として御報告させていただきました部分、それと今の評価手法の見直しの部分がございます。実は11月22日より前に、川崎市で検討しております実施計画というのがございますが、素案を作りまして対外的に公表していく予定となっております。それに合わせて中期経営計画の素案も対外的に公表しなければならないという日程が庁内で決まっておりますので、この11月前に改めて書面開催なり、素案の確認なりという場を設けさせていただければと思っておりますので、こちらについては改めて御相談させていただければと思います。

なお、本日の委員会議事録につきましては、後日各委員の皆様に御郵送させていただきますので、御確認いただきますようお願いいたします。以上でございます。

(大道委員長)

ただ今事務局から、「今後の開催日程」について説明がありました。御意見・御質問等がございますか。特になければ、以上で、その他の議題が終了となります。

その他に委員の皆様から何かございますか。特になければ、それでは、これで、令和3年度第2回川崎市立病院運営委員会を終了いたしますので、今後の進行につきましては、事務局にお返しいたします。

(今村経営企画室長)

皆様大変お疲れ様でございました。また、活発な御意見をいただきまして、ありがとうございました。本日いただきました御意見も踏まえまして、引き続き次期中期経営計画の策定を進めてまいります。それでは最後になりますが、亀川病院局長から御挨拶を申し上げます。

(亀川病院局長)

改めまして、病院局長の亀川でございます。本日は委員の皆様方におかれましては大変お忙しい中、市立病院運営委員会に御参加賜りまして、誠にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が勢いを増している状況で、国においては緊急事態宣言が発出されて、大変危機的な状況の中ではございますが、6月に第1回として書面会議で行いまして、今回はWEB会議ということで開催する運びとなりました。

本来ならば委員の皆様方に御挨拶して、また直接御意見を頂戴するとともに、委員の皆様同士の自由闊達な意見交換を拝聴する貴重な機会でございます。そういった点においては、私はWEB会議、今回初めてで若干不安がございましたが、結果的に非常に様々な御意見を頂戴して、無事終えることができました。本当にありがとうございます。

コロナ対応に置きましては、昨年度から現在に至るまで、私共市立3病院ともに公立病院としての使命をしっかりと果たしてきたものと認識しておりまして、そういった中で今回の取組状況については様々な評価があったかもしれませんが、ただ、結果的には決算においては十分な資金確保につながったのではないかなと評価しております。

今後は本日いただきました御意見を踏まえて、次期中期経営計画の策定作業を進めてまいります。病院の運営状況をできるだけ分かりやすく、理解できるような成果指標の設定を行うとともに、将来目指していく病院の姿をしっかりと示していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

最後に、本運営委員会開催にあたり、準備してくださいました川崎病院、井田病院、多摩病院の院長はじめ関係者の皆様、御協力ありがとうございました。本日はどうもありがとうございました。

(今村経営企画室長)

それでは、これで本日の日程はすべて終了となります。どうもありがとうございました。